



仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

2024年3月期 決算説明会資料

2024年5月31日

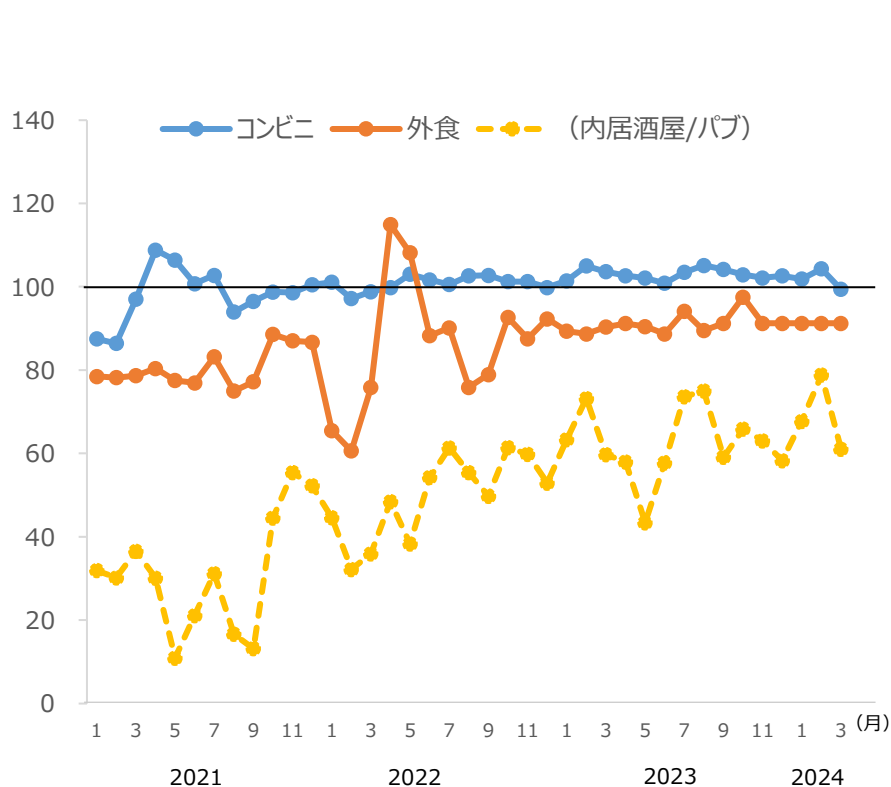
目次

I	2024/3期の決算概況	P 2
II	企業価値向上に向けて	P15
III	2025/3期の業績予想	P23
	参考資料	P27

I 2024/3期の決算概況

【コンビニ及び外食来店客数推移】(全店ベース) (2019 = 100)

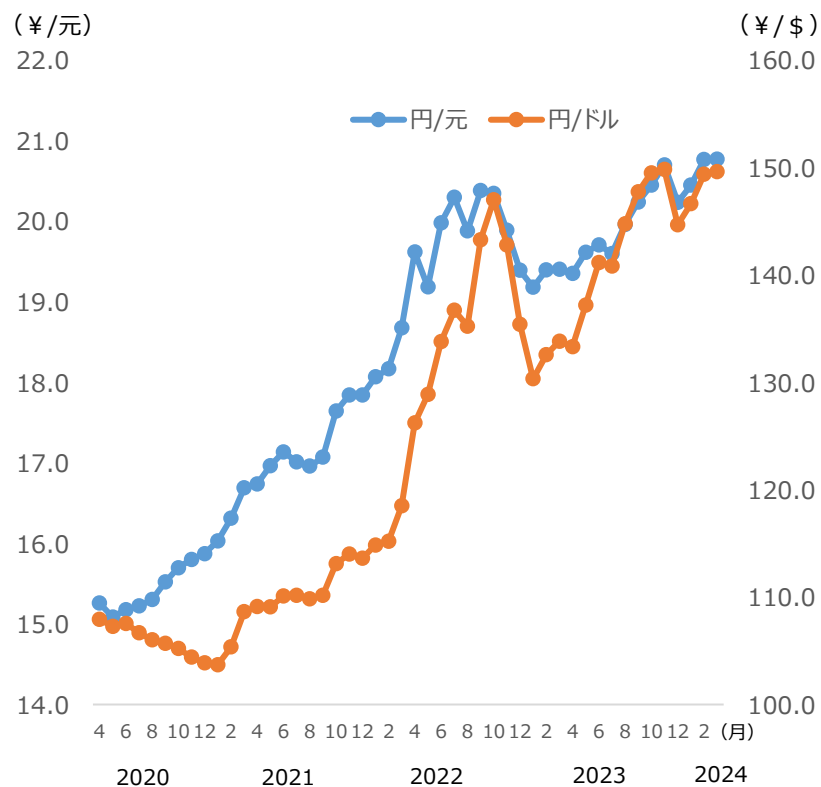
外食の居酒屋/パブ来客数は店舗数減の影響で回復途上



(出所) 日本フランチャイズチェーン協会、日本フードサービス協会

【為替推移】

円安が継続



(出所) 日本経済新聞

- ✓ 売上高は、値上浸透するも販売数量減少で、2.8%増収に留まる
- ✓ 営業利益は、値上効果に加え、燃料コスト低下で2.5倍へ

(単位：百万円、円)

	2023/3期		2024/3期			
	金額	前期比	金額	前期比	従前予想	予想比
売上高	18,620	+1.1%	19,137	+2.8%	19,800	▲662
営業利益	269	▲63.9%	690	+156.2%	600	+90
経常利益	389	▲56.5%	755	+94.0%	670	+85
親会社株主に帰属する 当期純利益	232	▲56.9%	495	+112.7%	440	+55
1株純利益	20.46	-	43.52	-	38.65	+4.89
設備投資額	408	▲283	576	+164		
減価償却費	975	+47	932	▲42		
研究開発費	249	▲47	271	+21		

製品区分別売上実績

【2024/3期実績】

- ✓ 自社商材は、粉末茶の回復に加え、カaramel製品が堅調で4.0%増収
- ✓ 受託商材は、国内の健食が大幅減だが、海外冷凍デザートが貢献し、横ばい圏を確保

(単位：百万円)

	2023/3期		2024/3期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	伸び率
売上高	18,620	100.0%	19,137	100.0%	+517	+2.8%
カaramel製品	4,022	21.6%	4,231	22.1%	+209	+5.2%
乾燥製品類	5,917	31.8%	6,184	32.3%	+266	+4.5%
組立製品類	3,990	21.4%	3,763	19.7%	▲226	▲5.7%
冷凍製品	3,527	18.9%	3,782	19.8%	+254	+7.2%
その他	1,162	6.3%	1,175	6.1%	+12	+1.1%
自社商材	11,776	63.2%	12,249	64.0%	+473	+4.0%
受託商材	6,844	36.8%	6,888	36.0%	+44	+0.6%
海外売上高	1,520	8.2%	1,795	9.4%	+277	+18.2%

(為替レート：円/元)

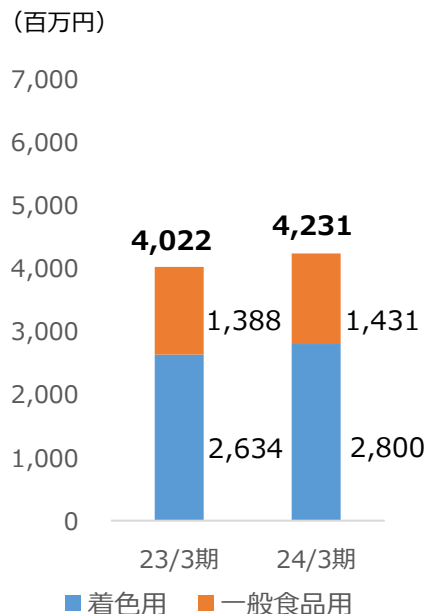
19.48

19.82

製品区分別売上詳細

【2024/3期実績】

カaramel製品



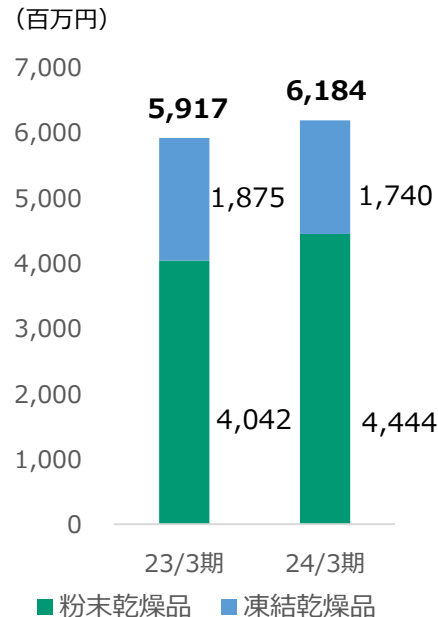
一般食品用

- ・下期にプリン向け需要回復

着色用

- ・飲料向け回復と海外需要の取り込み効果

乾燥製品類



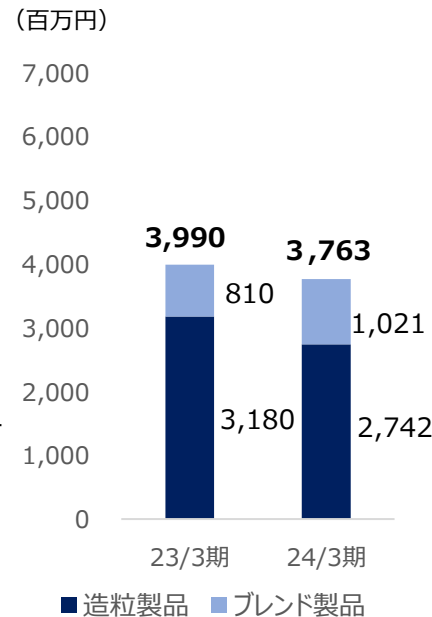
凍結乾燥製品

- ・国内即席麺向け需要低迷
- ・中国は需要戻らず

粉末乾燥製品

- ・粉末茶回復
- ・ベトナム設備が稼働開始

組立製品類



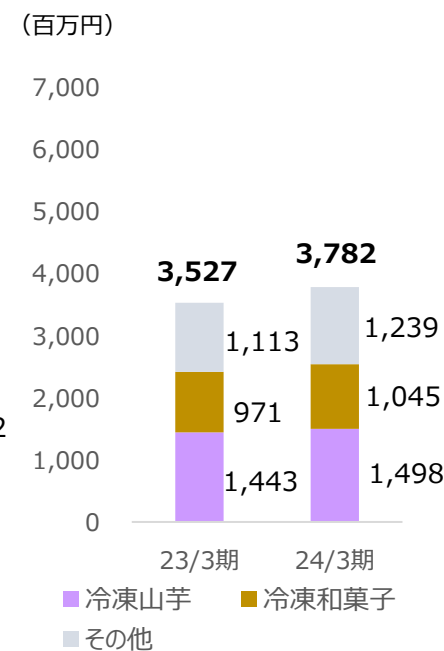
ブレンド製品

- ・提案営業の成果で受注拡大

造粒製品

- ・コーンスープ受託回復だが健康食品受託が大幅減

冷凍製品



その他

- ・中国の冷凍デザート拡販

冷凍和菓子

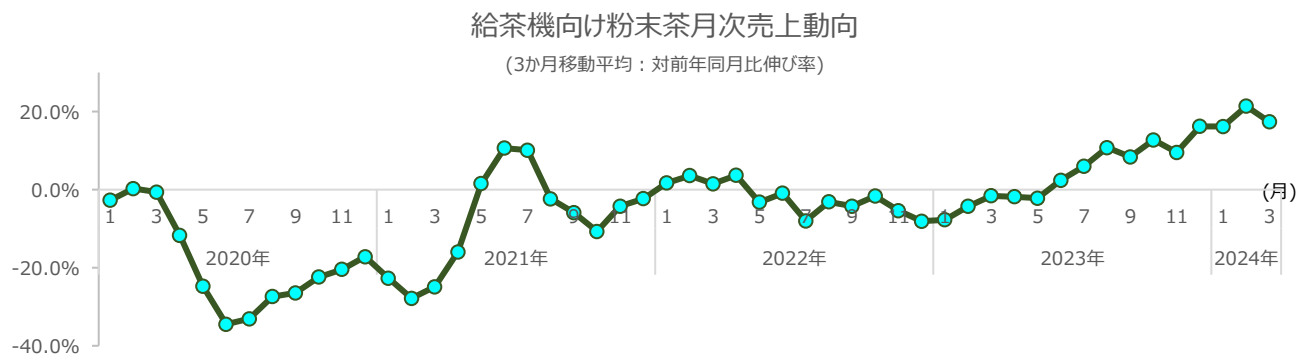
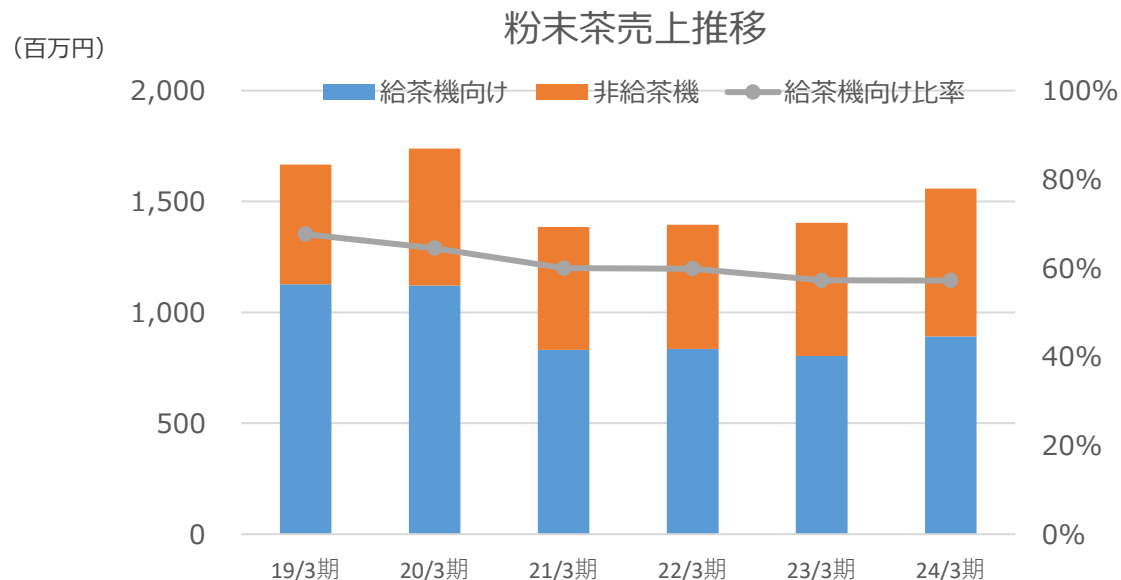
- ・どら焼き・ドームケーキとも堅調

冷凍山芋

- ・外食・CVS向け回復

①粉末茶

新型コロナの影響がなくなり給茶機向け商材が回復

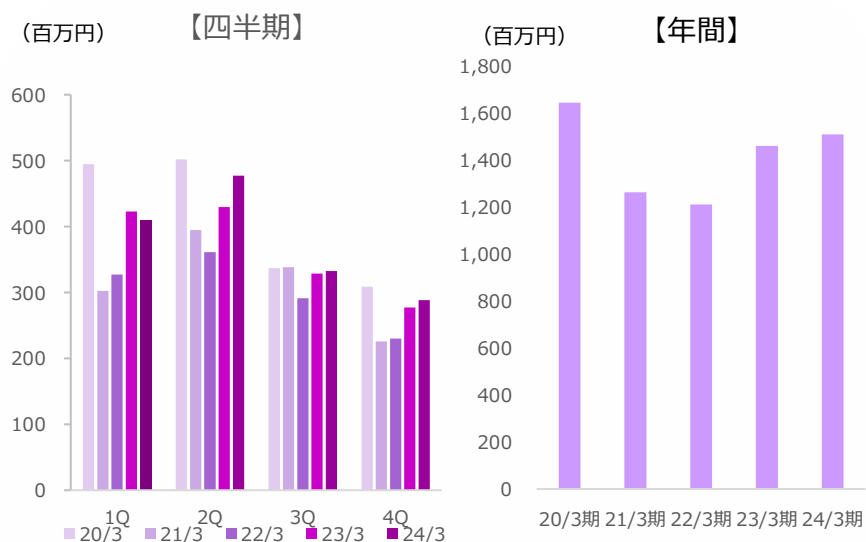


(注*) 20/3期は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値

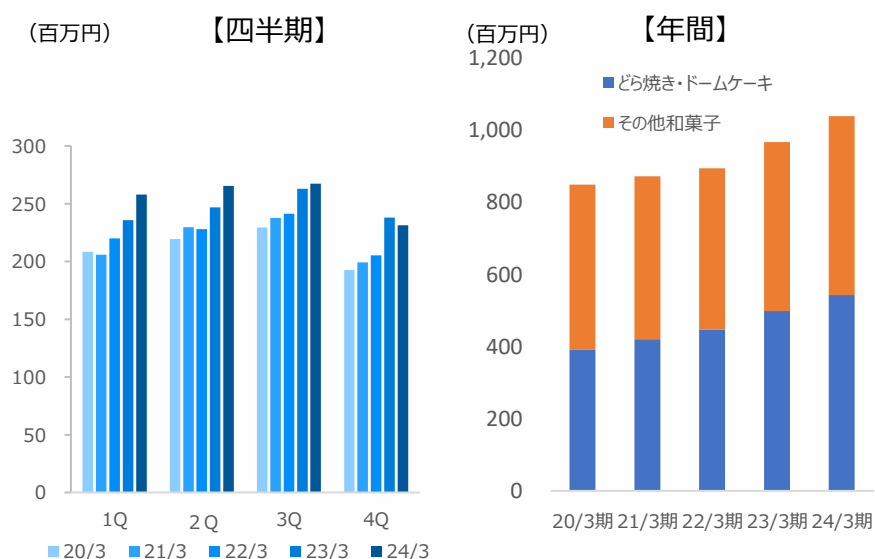
②冷凍製品

- ✓ 冷凍山芋は、CVS・外食向けが回復
- ✓ 冷凍和菓子は、どら焼き・ドームケーキの堅調続く

冷凍山芋売上高

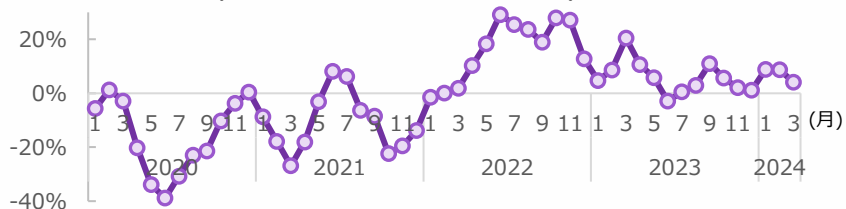


冷凍和菓子売上高



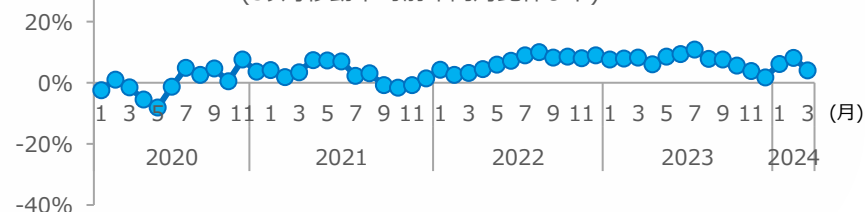
【月次動向】

(3か月移動平均前年同月比伸び率)



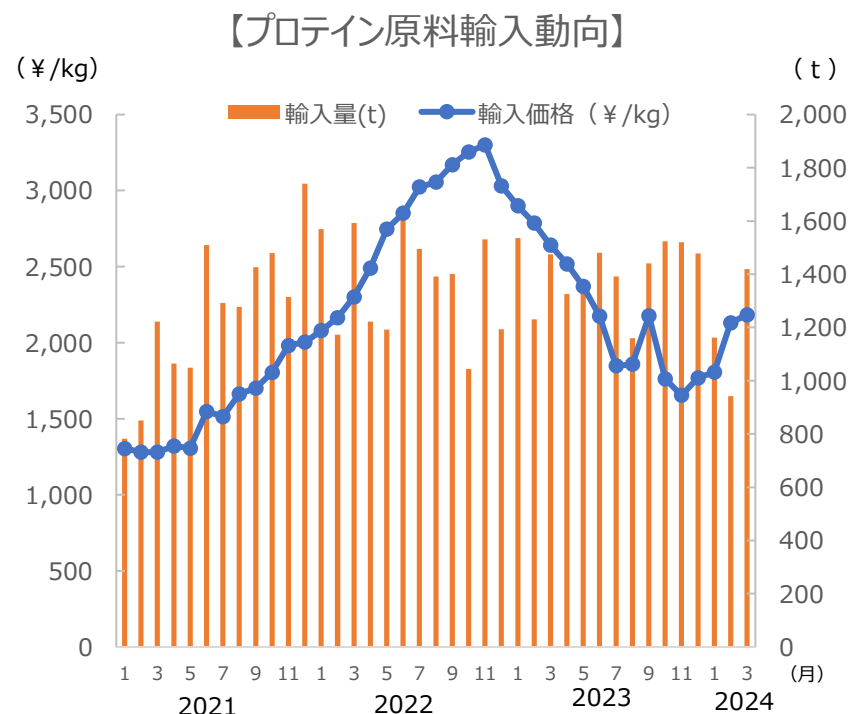
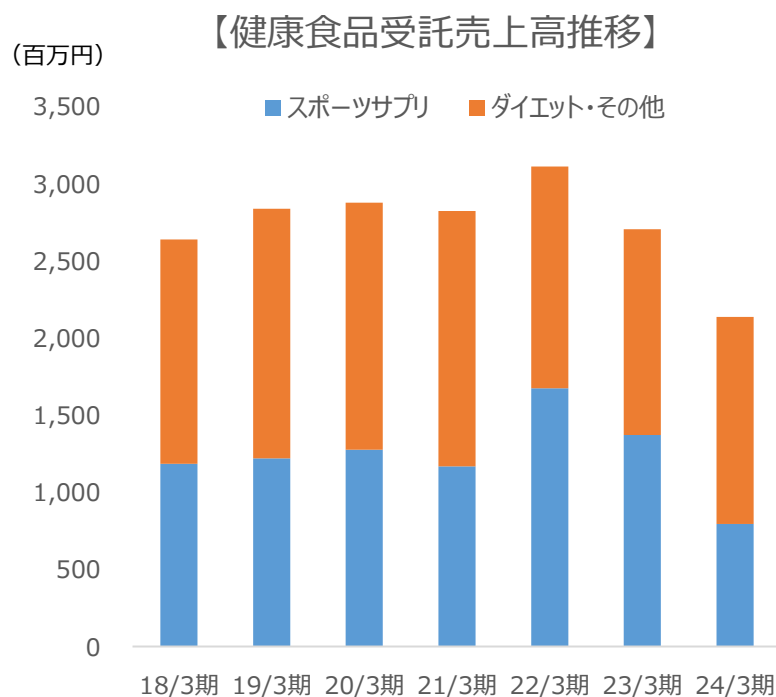
【月次動向】

(3ヶ月移動平均前年同月比伸び率)



③健康食品受託

- ✓ スポーツサプリが競争激化で受託低迷
- ✓ 輸入プロテイン原料価格は徐々に円安の影響



プロテイン原料：ミルクアルブミン（2以上のホエイたんぱく質の濃縮物を含む）

（出所）財務省貿易統計

要約損益計算書

【2024/3期実績】

- ✓ 原価率は、値上浸透と燃料コスト低下で、2.8ポイント改善
- ✓ 運賃上昇や研究開発費増加で販管費比率は0.6ポイント上昇

(単位：百万円)

	2023/3期		2024/3期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	伸び率
売上高	18,620	100.0%	19,137	100.0%	+ 517	+ 2.8%
売上原価	15,063	80.9%	14,953	78.1%	▲ 109	▲ 0.7%
売上総利益	3,557	19.1%	4,183	21.9%	+ 626	+ 17.6%
販管費	3,287	17.7%	3,493	18.3%	+ 205	+ 6.3%
営業利益	269	1.4%	690	3.6%	+ 421	+ 156.2%
営業外損益	119	0.6%	64	0.3%	▲ 55	▲ 46.2%
経常利益	389	2.1%	755	3.9%	+ 365	+ 94.0%
特別損益	▲ 160	▲ 0.9%	—	—	+ 160	
税引前利益	228	1.2%	755	3.9%	+ 526	+ 230.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	232	1.3%	495	2.6%	+ 262	+ 112.7%

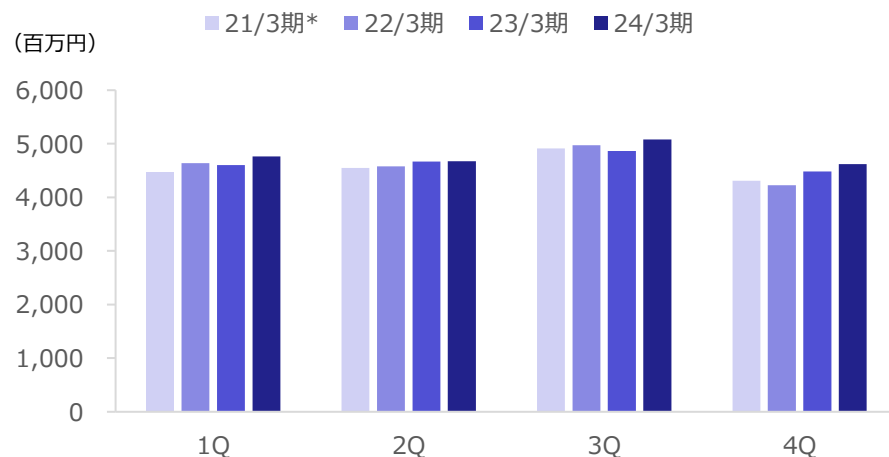
(百万円)

	23/3	24/3
営業外収益	254 →	145
営業外費用	134 →	81
(金融収支)	▲ 22 →	▲ 19
(為替差益)	123 →	58
特別損失	160 →	—
(減損損失)	160 →	—

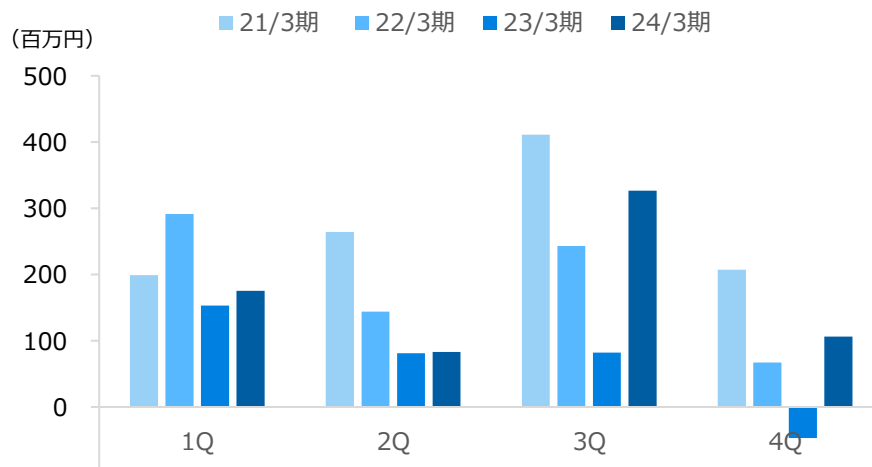
四半期業績推移

【2024/3期実績】

四半期売上高推移



四半期営業利益推移



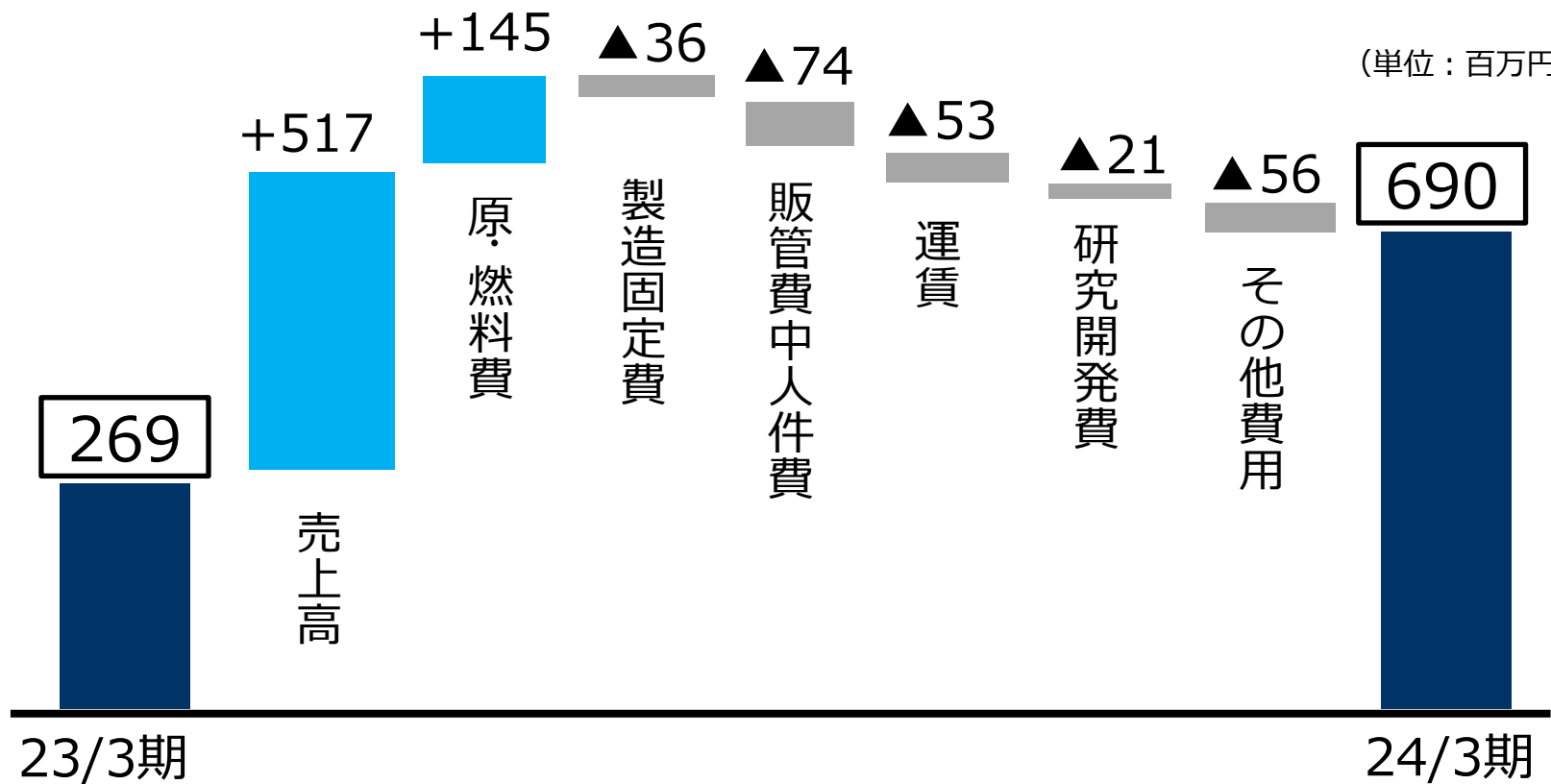
(単位：百万円)

	22/3期				23/3期				24/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,641	4,582	4,970	4,225	4,603	4,669	4,868	4,479	4,765	4,677	5,077	4,617
カaramel製品	902	921	1,030	899	988	998	1,076	958	1,038	1,019	1,176	998
乾燥製品類	1,423	1,366	1,556	1,424	1,438	1,381	1,616	1,480	1,416	1,495	1,683	1,590
組立製品類	1,231	1,208	1,241	972	1,046	1,095	938	910	1,007	811	984	960
冷凍製品	808	815	839	655	845	923	906	851	1,035	1,054	895	796
その他	276	271	304	276	283	270	330	277	267	296	338	273
営業利益	291	144	243	67	153	81	82	▲46	175	84	325	105

営業利益増減分析

【2024/3期実績】

(単位：百万円)



要約貸借対照表

【2024/3期実績】

(単位：百万円)

	2023/3末	2024/3末	増減額
流動資産	11,143	11,847	+703
現金及び預金	3,182	3,449	+267
受取手形及び売掛金※	4,242	4,594	+352
棚卸資産	3,507	3,434	▲72
固定資産	10,523	11,158	+635
有形固定資産	7,300	7,113	▲187
無形固定資産	735	729	▲5
投資その他資産	2,487	3,314	+827
資産合計	21,667	23,006	+1,339

棚卸資産 ▲72 百万円
 ・商品・製品 +32 百万円
 ・仕掛品 ▲64 百万円
 ・原材料・貯蔵品 ▲39 百万円

※電子記録債権を含む

流動負債	7,612	7,818	+206
支払手形及び買掛金※	2,502	2,405	▲97
短期借入金	3,754	3,809	+54
固定負債	2,482	2,470	▲11
長期借入金	755	571	▲183
負債合計	10,094	10,289	+194
純資産合計	11,572	12,716	+1,144

有利子負債 ▲129 百万円
 ・短期借入金 +54 百万円
 ・長期借入金 ▲183 百万円

⇒自己資本比率 **51.7%**
 (+1.8ポイント)

※電子記録債務を含む

要約キャッシュ・フロー計算書

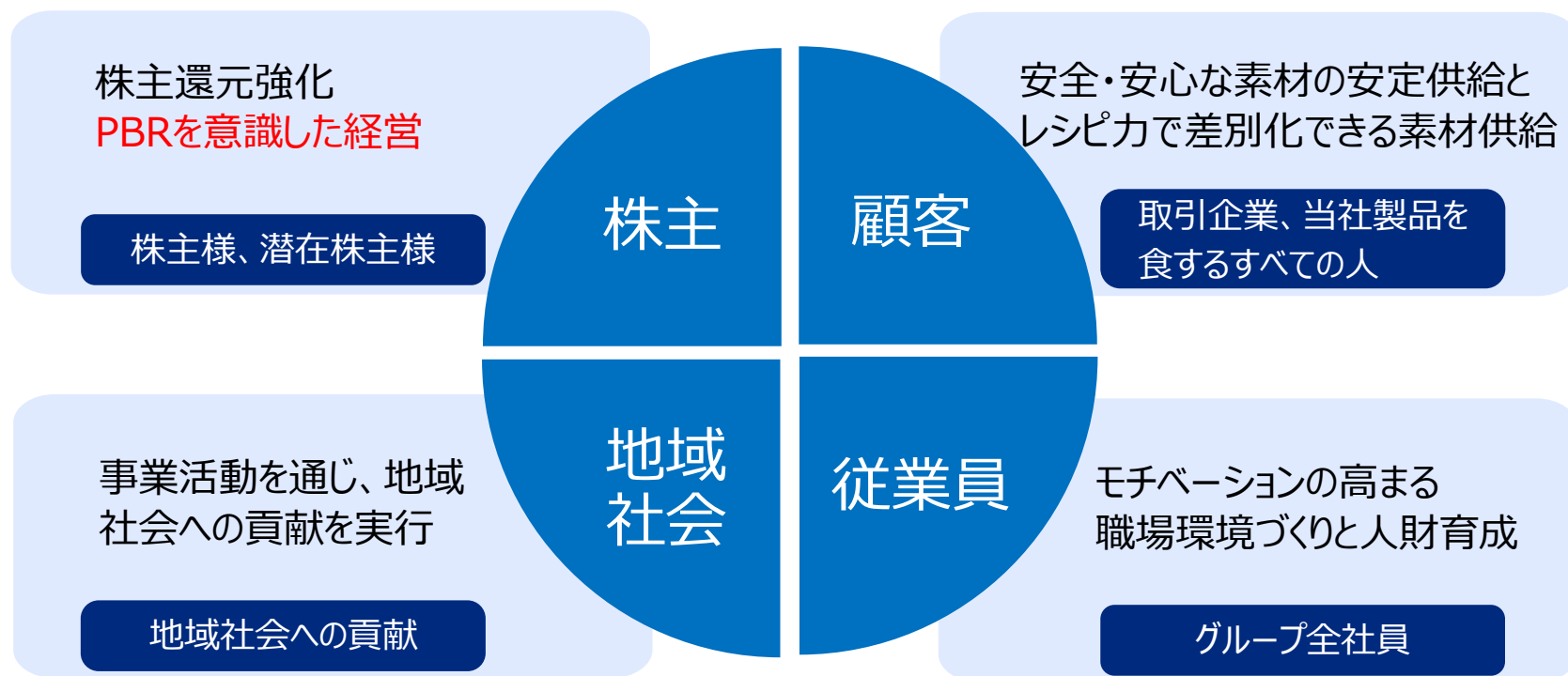
【2024/3期実績】

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期
営業キャッシュ・フロー	822	1,372
税金等調整前当期純利益	228	755
減価償却費	975	932
売上債権の増減額（▲は増加）	▲251	▲424
棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲112	92
仕入債務の増減額（▲は減少）	145	▲27
法人税等の支払額	▲254	▲170
投資キャッシュ・フロー	▲432	▲742
有形固定資産の取得による支出	▲413	▲480
財務キャッシュ・フロー	▲562	▲385
有利子負債の純増減額	▲350	▲171
配当金の支払額	▲170	▲170
現金及び現金同等物 期中増減額	▲131	267
現金及び現金同等物 期末残高	3,167	3,434

Ⅱ 企業価値向上に向けて

100年企業に向けた強固な基盤構築



より良いものを作り、顧客信頼度を向上させ、
収益を伸ばすことで株主様、従業員、地域社会への還元を増やす

$$\text{PBR} = \text{ROE} \times \text{PER}$$

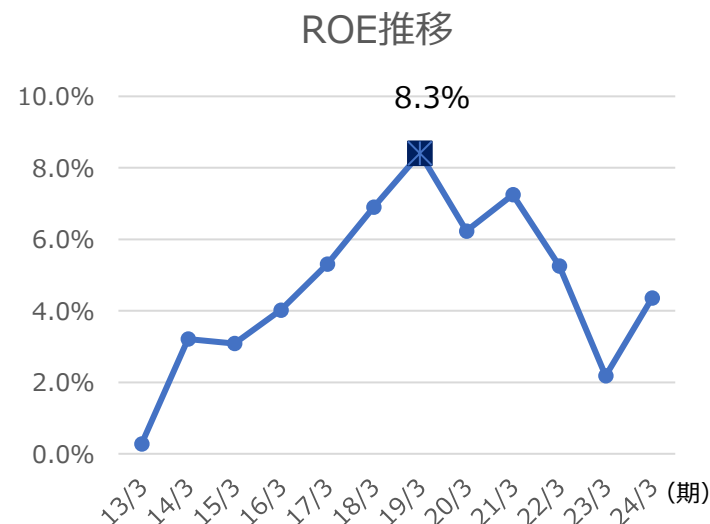
現状のPBRは、0.7倍程度

- ROEがピークとなった19/3期中の2018年8月には、PBR1.5倍を記録
- 前期のROEは4.4%と回復するも水準は低い



主にROEを高めることでPBRの向上を図る

- ✓ ROE向上は、営業利益の拡大で達成させる
- ✓ PER改善は、投資家との対話強化が必要と認識
⇒ 中期的な成長戦略や投資家が収益構造等を理解し易い情報開示を目指す



基本戦略

グループ経営力強化

- ◆ 単体経営からの脱却
- ◆ 子会社の管理強化

自社商材拡販

- ◆ 開発強化
- ◆ 提案営業強化

海外市場開拓

- ◆ 東南アジア市場向け

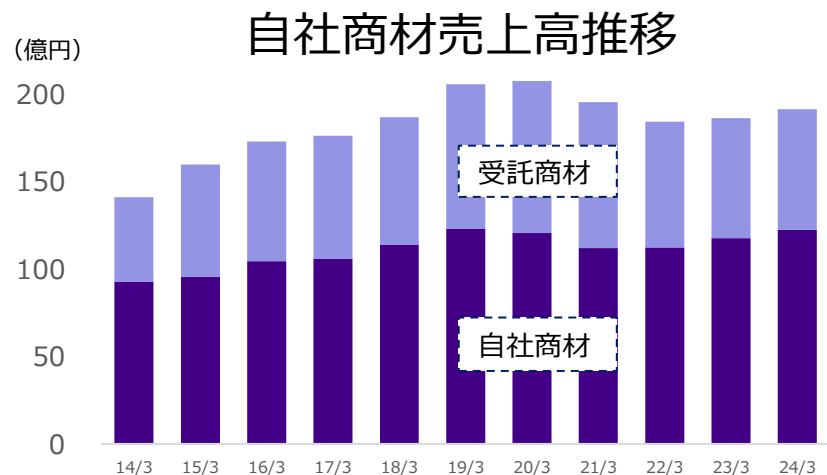
営業キャッシュフローの最大化を目指す

成長投資資金の確保と還元強化

注) 営業キャッシュフロー = 営業利益 + 減価償却費

中国事業の見直し

中国向け自社商材の開発が計画通り進まず、パートナーに経営権を移譲。日本向け製品の供給は継続へ。



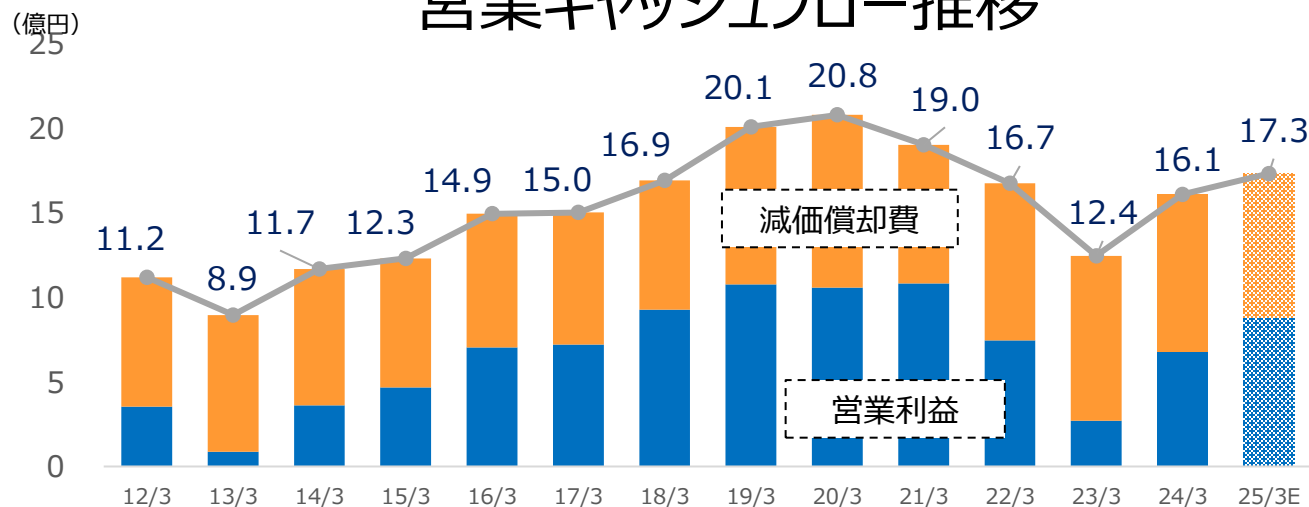
海外市場向け売上高推移

(単位：百万円)

	18/3 *	19/3 *	20/3 *	21/3 *	22/3	23/3	24/3
海外売上高*	264	1,497	1,403	1,304	1,338	1,520	1,795
海外売上比率*	1.4%	7.3%	6.8%	7.2%	7.3%	8.2%	9.4%
海外子会社*	225	1,465	1,342	1,281	1,315	1,496	1,767
輸出*	39	32	61	23	23	22	27

(注*) 20/3期以前は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値

営業キャッシュフロー推移



今期の重点施策

懸念材料

- 円安進行に伴う更なるコスト上昇
- 食品会社の値上げに伴う販売量減少懸念

今期の重点施策

継続的な値上げ

中国事業の見直し及び
ベトナム事業の早期黒字化の達成

ステルスの影響を受けない新自社商材の開発・上市



中国事業は黒字転換、ベトナム事業は赤字継続

中国事業

- ・FD製品減少を受託商材の冷凍デザート拡販で吸収し、売上計画達成
- ・ユーティリティーコスト低下と為替リスクを親会社へ移したことで営業黒字に転じる

ベトナム事業

- ・SD設備が稼働開始したが、納入の期ズレで計画未達
- ・出向者増も含め、現地従業員の採用も進む

【海外事業収益】

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期	24/3期		25/3期
			実績	予想	予想
中国事業					
売上高	2,255	2,375	2,628	2,473	160
営業利益	▲46	▲204	10	▲1	▲5
ベトナム事業					
売上高	122	154	256	377	501
営業利益	▲68	▲123	▲50	6	35
【為替レート】					
(¥/元)	17.03	19.48	19.82	20.00	21.5
(¥/VND)	0.004908	0.005728	0.006022	0.005913	0.006022

【海外事業従業員】

(単位：人)

	従業員数 (臨時雇用者除く)		出向者	
	22/12 末	23/12 末	22/12 末	23/12 末
福州仙波	10	11	中国事業	
龍和食品	106	100	8	4
SEMBA-NFC	4	5	ベトナム事業	
STVC*	33	40	4	6

STVC*:SEMBA TOHKA VIETNAM COMPANY LIMITED

今後の海外事業

中国事業

龍和食品

子会社⇒持分法適用会社（日本向けFD製品の供給継続）

福州仙波

【生產品目】

粉末製品

カaramel製品

上海事務所



聖域なくビジネスモデルを見直す

ベトナム事業

SD設備の本格稼働で黒字転換を見込む

【製造子会社】

STVC

(100%出資)

【生產品目】

粉末製品

カaramel製品

【販売子会社】

SEMBA-NFC

(60%出資)

STVC社の生産計画

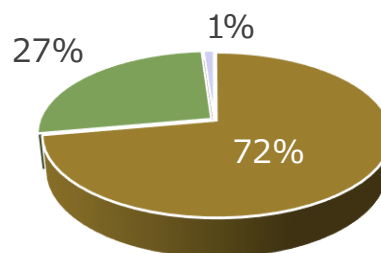
【24/3期】

2.3億円

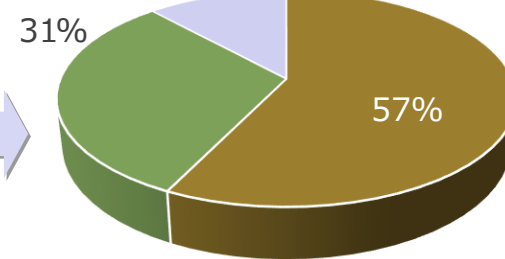
(金額ベース)

【25/3期計画】

5.3億円



■ カaramel製品 ■ SD製品 ■ ブレンド製品



■ カaramel製品 ■ SD製品 ■ ブレンド製品

Ⅲ 2025/3期の業績予想

製品区分別売上高予想

【2025/3期予想】

- ✓カaramel製品は、国内需要堅調と海外需要取り込みを見込む
- ✓乾燥製品類は、業務用粉末や即席麺向け製品の回復を計画
- ✓組立製品類は、健康食品受託加工が底打ちへ
- ✓冷凍製品は、国内冷凍和菓子堅調だが海外売上高減少

(単位：百万円)

	2024/3期			2025/3期予想＊			
	上期	下期	通期	上期(予)	下期(予)	通期(予)	伸び率
売上高	9,442	9,694	19,137	9,500	10,300	19,800	+3.5%
カaramel製品	2,057	2,174	4,231	2,200	2,600	4,800	+13.4%
乾燥製品類	2,912	3,272	6,184	3,030	3,620	6,650	+7.5%
組立製品類	1,818	1,945	3,763	1,840	2,160	4,000	+6.3%
冷凍製品	2,090	1,691	3,782	1,840	1,310	3,150	▲16.7%
その他	563	612	1,175	590	610	1,200	+2.1%

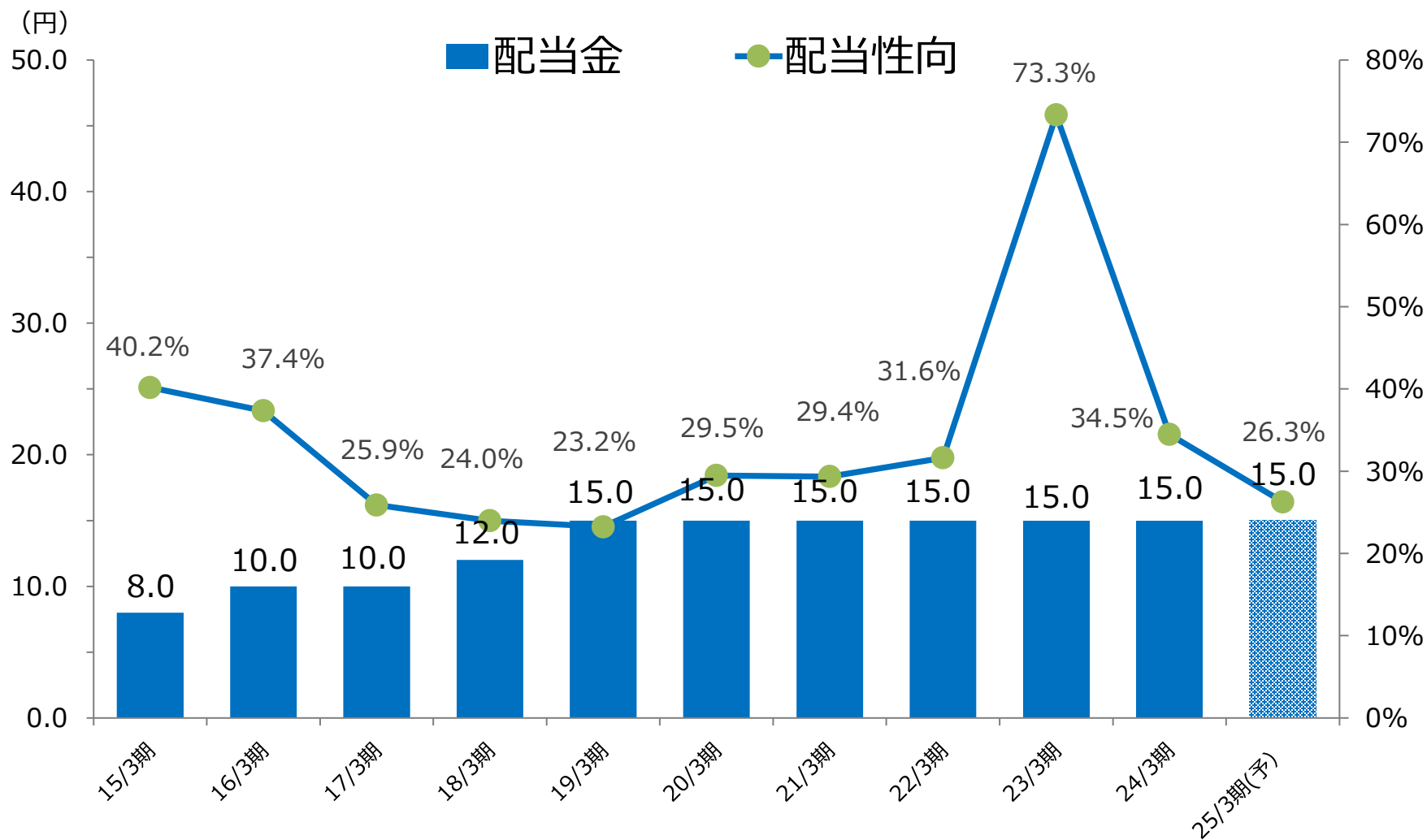
＊注）龍和食品の持分法適用会社への移行で、冷凍製品と乾燥製品合計で年間ベースの売上高は約13億円減少
25/3期予想では、持分法適用会社への移行に伴い、2Q以降で9.5億円の減少を織り込み

- ✓円安進行でコストは上昇するも、値上浸透とベトナム事業の黒字転換で営業利益は27.4%増益を予想
- ✓為替差益が無くなるものの、経常利益は19.2%増益へ

(単位：百万円、円)

	2024/3期			2025/3期予想			
	上期	下期	通期	上期 (予)	下期 (予)	通期 (予)	伸び率
売上高	9,442	9,695	19,137	9,500	10,300	19,800	+3.5%
営業利益	259	431	690	320	560	880	+27.4%
経常利益	386	369	755	325	575	900	+19.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	303	192	495	225	425	650	+31.2%
1株純利益	26.70	16.82	43.52	19.75	37.34	57.09	-
設備投資額			576			1,126	
減価償却費			932			851	
研究開発費			271			304	

〈為替レート前提〉 24/3期:19.82円/元、145円/ドル、25/3期(予) : 21.5円/元、155円/ドル



參考資料

- 創業商材。国内シェアはトップ
- 高付加価値のデザート・シラップ向け新製品開発に注力
- 海外顧客の取り込み強化で成長を目指す

一般食品用

プリン等のデザート向けやココ味調味料向けが主力。
バウムクーヘンやクリームブリュレ等の高級洋菓子向け需要が拡大。

一般食品向け製品例

カaramelソース
(ボトル品) (顆粒品)



カaramelソース
(タブレット)



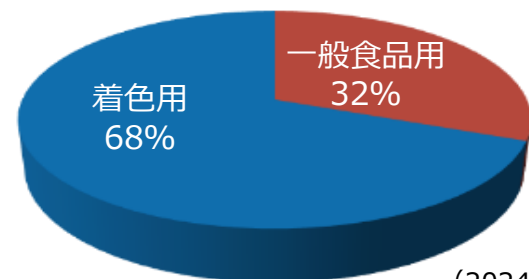
キャンディー・チップ



着色用

清涼飲料やアルコール飲料、ソース、カレー等

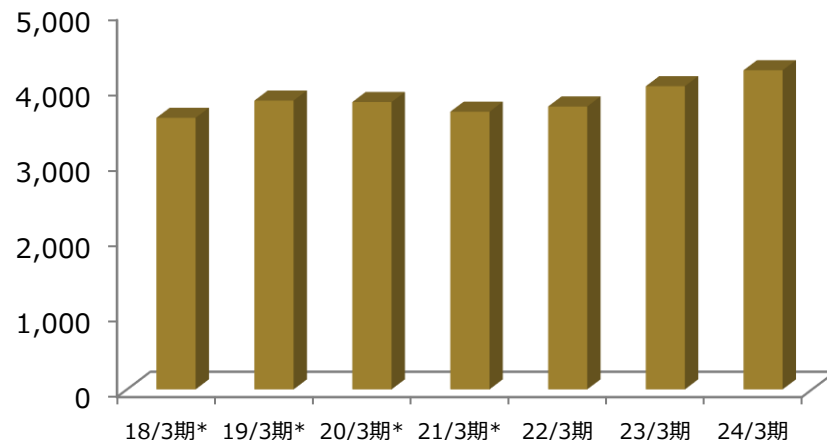
用途別カaramel製品売上構成



(2024/3期)

カaramel製品売上高推移

(百万円)



(注*) 21/3期以前は旧会計基準

- 売上高の約**80%**は B to B、粉末製品と凍結乾燥製品を手掛ける
- 粉末製品は、粉末茶や粉末調味料（味噌や醤油）などを販売
- 凍結乾燥製品は、野菜ブロックや粉末山芋が主力

当社の主力製造技術

粉末製品

スプレードライ(SD)技術

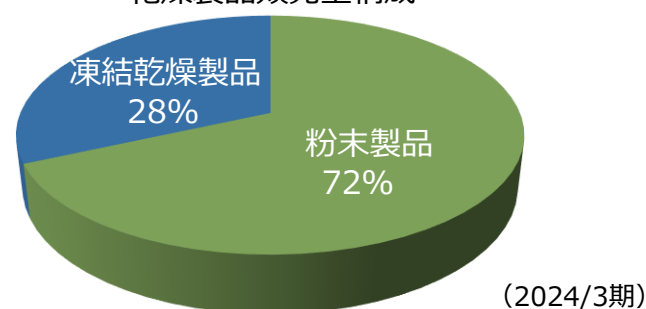
液状化した原料を霧状にし、加熱空気で瞬間的に粉末化する乾燥技術。乾燥工程が短く、大量生産に威力を発揮し、高品質で、低コストな製品の安定供給が可能。

凍結乾燥製品

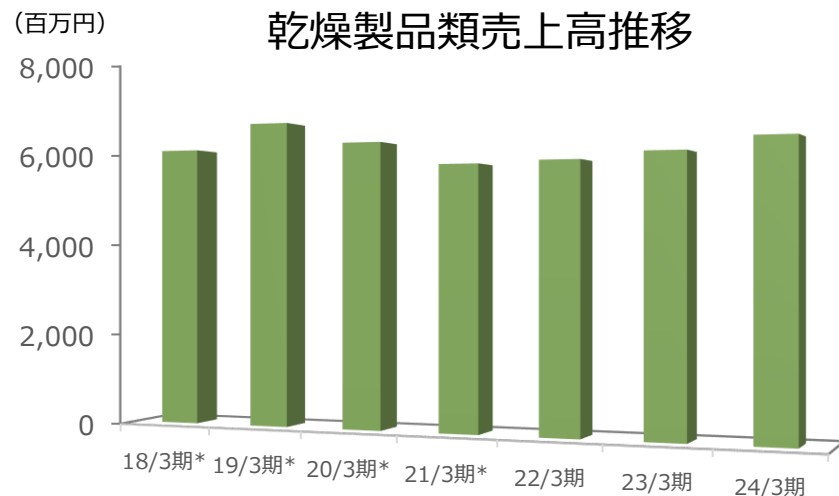
フリーズドライ(FD)技術

凍結させた原料を真空状態のもと、低温で乾燥させる技術。素材の色、味、香り、栄養をそこなく乾燥することが可能。保存性や簡便性に加えて、機能性が高い乾燥方法。

乾燥製品類売上構成



乾燥製品類売上高推移



(注*) 21/3期以前は旧会計基準

- 冷凍和菓子はメディアケア市場向け中心に、約50種類を販売
- 冷凍山芋は業務用・CVS向け中心。取扱量は業界 2 位
- 中国子会社は主に中国市場向け冷凍デザート製品を手掛ける

冷凍和菓子



その他(海外)



【タピオカ】



【もち】



【求肥】

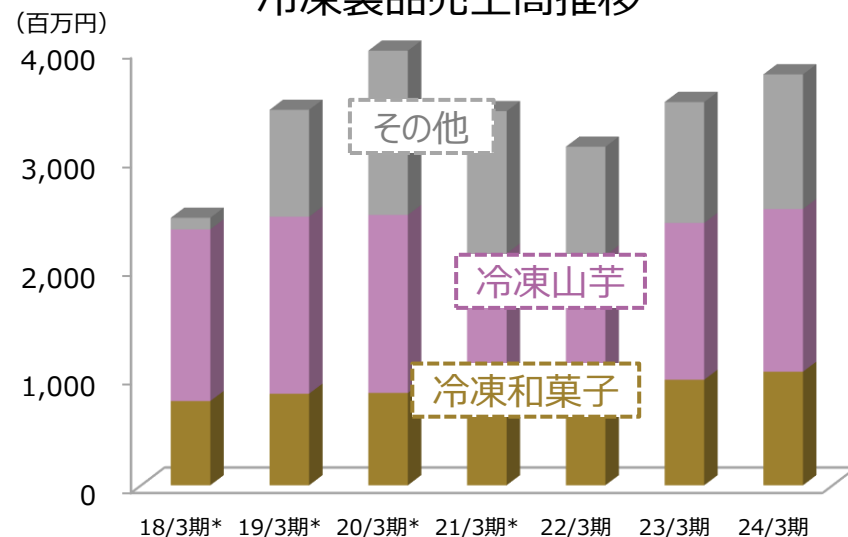


【白キクラゲ】

冷凍山芋



冷凍製品売上高推移



(注*) 21/3期以前は旧会計基準

- 造粒製品とブレンド製品とも受託加工が中心
- 溶け易くななどのキーワードで提案営業を強化
- 24/3期はスポーツサブリ受託が大幅に落ち込む

造粒とは

粉末食品の「溶けにくい」、「流動性が悪い」、「吸湿性が強い」等を改善し、より使いやすい最終商品へ仕上げる。

造粒製品

スープ類、健康食品、スポーツ飲料、ココア等



ブレンドとは

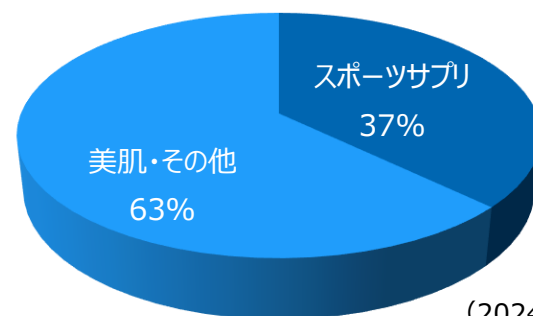
各種原料を混合し、原料の持ち味を活かした粉末状調味料やインスタント食品などを製造する。

ブレンド製品

小麦粉ミックス、唐揚げ粉、みそ汁、粉末エキス等

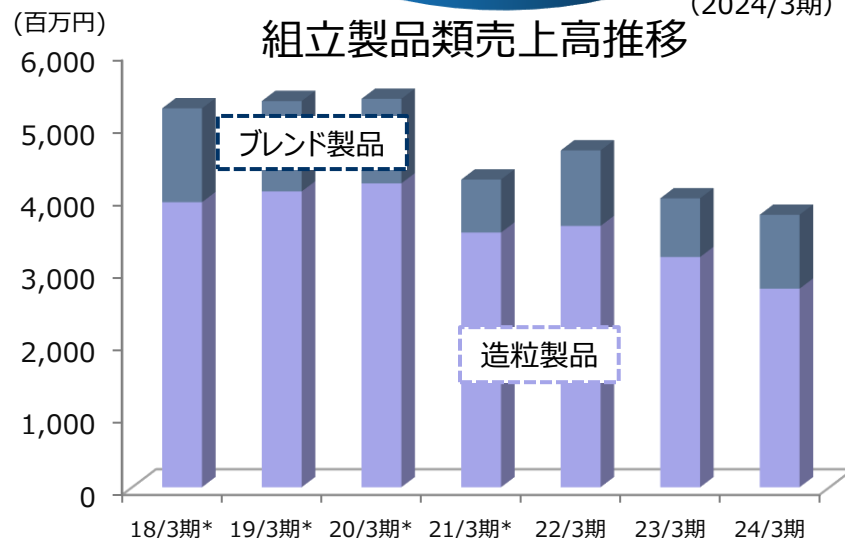


健康食品の売上構成



(2024/3期)

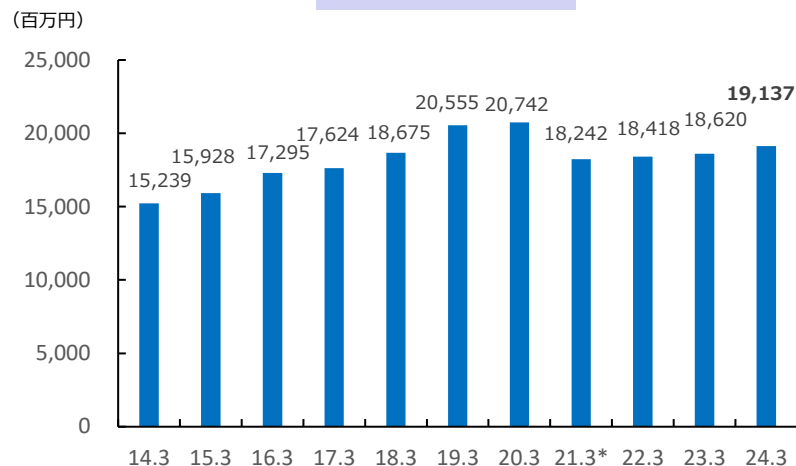
組立製品類売上高推移



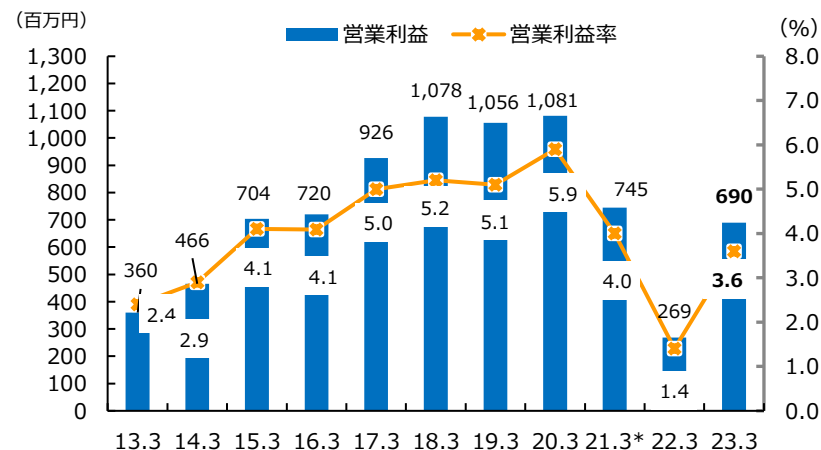
(注*) 21/3期以前は旧会計基準

主要財務データ①

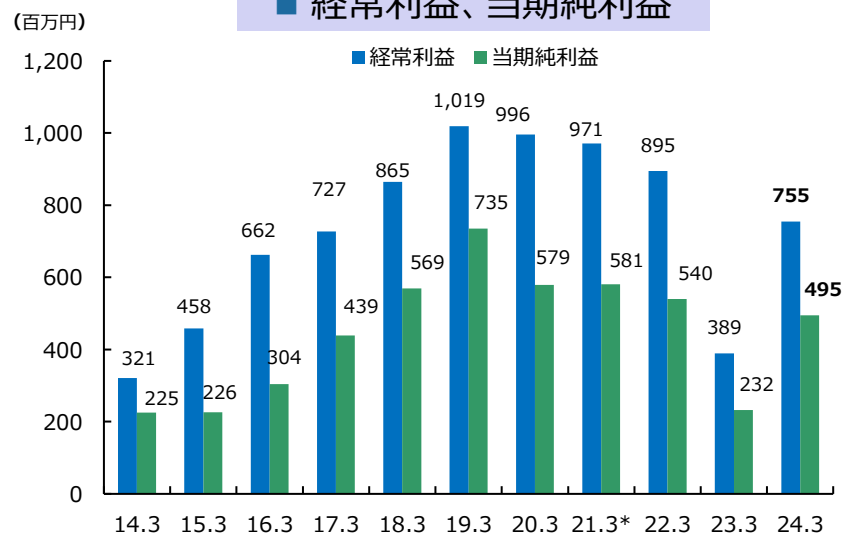
売上高



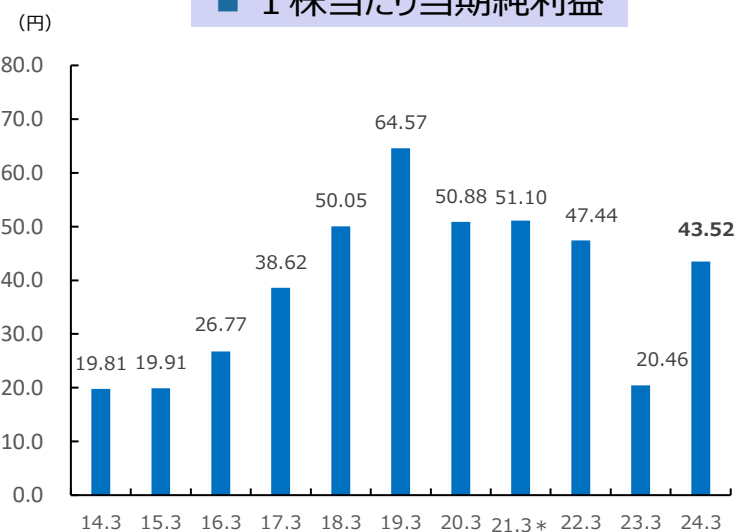
営業利益



経常利益、当期純利益



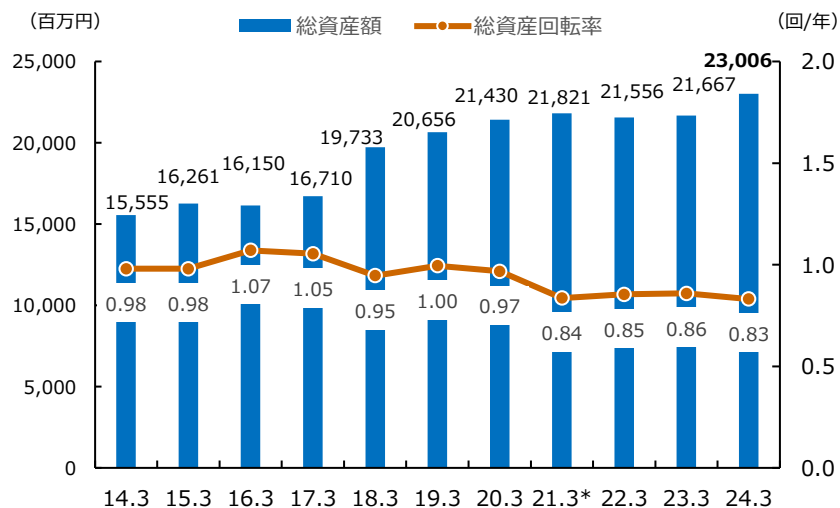
1株当たり当期純利益



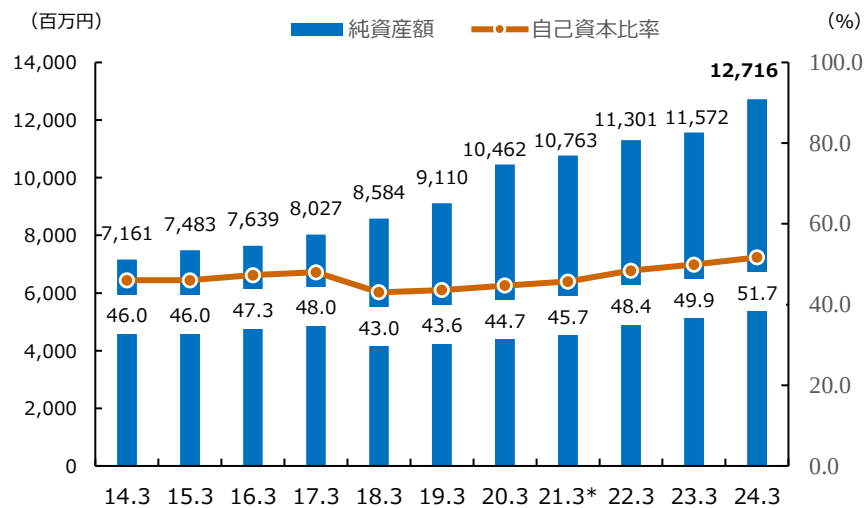
(注*) 20/3期以前は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値

主要財務データ②

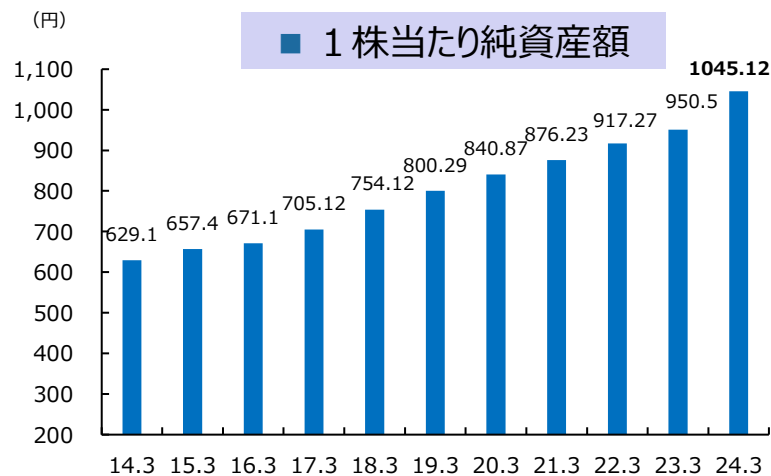
■ 総資産、総資産回転率



■ 純資産額、自己資本比率



■ 1株当たり純資産額



(注*) 20/3期以前は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値

〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171
FAX: 0285-84-3283
E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。